

大江町議会だより

おおえ



2014.7.24

No. **132**

親子で自転車教室（左沢小3年生）

6月定例会 ②

一般会計補正予算/主な質疑応答 ④

一般質問 ⑥

産業厚生常任委員会 災害現地視察 報告 ... ⑧

第39回全国町村議会議長・副議長研修会/諸般の報告 ... ⑨

私もひとこと/議会の動き/編集後記 ... ⑩

●発行 / 大江町議会

●編集 / 議会広報常任委員会

〒990-1101 山形県西村山郡大江町左沢382-1

TEL (0237) 62-2228 FAX (0237) 62-2155

6月定例会

平成26年第2回定例会は、6月4日から6日までの3日間の会期で開かれました。

最初に、町長の行政報告があり、藤田地区に新たな住宅団地を整備する計画や、西村山地方開発重要事業について県知事へ要望することなどの報告がありました。

その後、条例等の一部改正、一般会計補正予算など7議案について慎重に審議した結果、全会一致で原案のとおり承認・可決しました。

一般質問では2人が、少子化対策や美しい里山作りについて厳しく町政をただしました。

行政報告(町長より)

1 平成24年度決算に基づく大江町財務諸表について

本町の財政状況は概ね良好に推移している。

職員個人がコスト意識を持ち行政財運営を進めていく。

2 平成26年度大江町職員採用の実施について

上級の行政職と土木技術職、初級の行政職と土木技術職とし、採用人数はそれぞれ若干名。

上級行政職の採用では、埋蔵文化財関連事務に従事する職員も含まれる。

3 藤田地区住宅団地整備事業について

今後、藤田地区、地権者・隣接住民及び関係者に対して説明を行い、平成27年度中には分譲を開始できるよう取り組んでいきます。



若者向けの住宅団地が造成される藤田地区

4 平成27年度西村山地方開発重要事業要望事項について

継続的な事項に加え、県営農村地域防災減災事業「大江東部地区」の新規採択を加え、10項目の要望を提出

5 (株)大江町産業振興公社決算報告並びに事業計画について

売上高2億2千47万円、前年比4・8%減、当期純損失1千462万円、昨年比53・5%の増
今期売上目標2億3千186万円、利益目標135万円

(教育長より)

1 平成26年度中学生の海外派遣事業について

3年生9名、2年生2名の計11名を派遣生徒に決定
7月29日から8月4日までの7日間の日程で、現地アメリカモンタナ州ミズーラ市周辺で4日間の活動予定
帰国後、町民の皆さんへ発表する報告会を開催予定

2 中央公民館の改築に伴う事務所移転について

今年11月に現在の中央公民館を解体し、同じ場所に平成28年2月完成を目標に建設予定。
工事期間中、教育委員会の仮事務所は旧本郷西小学校とし、10月から引っ越し作業を行い、平成28年3月まで事務を執行します。

図書の出し出しは個別に対応し、新しい中央公民館の基本設計がある程度まとまった段階で町民の皆様を示し、理解を図り整備を進めていきたい。



中学生海外派遣事業の事前研修会(入国審査)

報告第1号

繰越明許費繰越計算書の報告

民生費

子ども・子育て支援システム整備事業 684万円

農林水産業費

町単独土地改良事業 359万円

商工費

健康温泉館改修事業 1億2千295万円

土木費

道路改良事業（町道藤田堂屋敷ほか） 8千770万円
町営西原住宅整備事業 3千91万円

消防費

防災拠点再生可能エネルギー導入促進事業 2千26万円

教育費

左沢橋山城跡保存整備事業 4千232万円

災害復旧費

土木施設災害復旧事業（町道柳川

徳沢線ほか） 1億6千596万円

林道施設災害復旧事業（林道小柳線ほか） 2千137万円

報告第2号

（専決処分の報告）

平成25年度町道藤田堂屋敷線道路改良工事請負契約の一部変更
請負金額 変更前（税込み） 5千299万円
変更後（税込み） 5千368万円

変更理由

工事中、道路を掘り起こしたところ旧道路施設のコンクリート製の側溝が出現したため、撤去処分に要する費用

専決処分の承認

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、本条例の一部を改正する必要があったことから3件の専決処分を行ったものです。

議第49号

大江町税条例等の一部改正

議第50号

大江町都市計画税条例の一部改正

議第51号

大江町国民健康保険税条例の一部改正

議第52号

平成25年度大江町一般会計補正予算
既定の歳入歳出予算の総額に570万円を追加し、補正後の歳入歳出総額を54億60万円とするものです。

これは、地域経済活性化・雇用創出臨時交付金の交付決定等に伴い、緊急に予算処置を講ずる必要が生じたことから、大江町一般会計歳入歳出予算の補正を専決処分したものです。

財産の取得

議第53号

- 購入品名 大型ロータリー（2・2m級）
- 購入台数 1台
- 購入金額 3千229万円
- 購入先 山形市大字十文字1128番

地1

昭和建機株式会社

代表取締役

石川 清



取得予定機と同型の大型ロータリー車

工事請負契約の一部変更

議第54号

平成25年度大江町健康温泉館改修等工事請負契約の一部変更

露天風呂浴槽の上屋工事および板塀の設置、落雪対策として温泉水を利用した40mm融雪線の設置にかかる費用を計上したものです。

請負金額 変更前（税込み）

2億4千887万円

変更後（税込み）

2億6千436万円

一般会計 補正予算

平成26年度一般会計補正予算は既定予算に歳入歳出それぞれ5千140万円を追加し、総額48億7千270万円とする平成26年度一般会計補正予算（第一号）を可決しました。
主なものは次のとおりです。

（建設費）

農林水産業費

○町単独土地改良事業費補助金（追加）
1千350万円
（7・18豪雨災害復旧費等の補助金）

商工費

○古寺遊歩道復旧工事費

160万円
（古寺駐車場から朝陽館に至る遊歩道の工事）

○健康温泉館リニューアルオープンイベント負担金
50万円
（7月20日にリニューアルオープン）

教育費

○中学生海外派遣事業委託金（追加）
121万円
（研修生徒の定員が1名増え、11名となったため）

○臨時調理師賃金（追加）
121万円
（左沢小の調理師が1名欠員となつたため臨時雇用するもの）

○臨時雇賃金
136万円
（当初予算で計上していなかった大江中用務員1名の賃金）

○自治公民館建設費補助金

500万円



蛭水区公民館の建設予定地

（蛭水区コミュニティセンター建設助成事業）

主な質疑応答 （抜粋）

結城議員 新しい中央公民館の設計会社の決め手となった理由は。
教育文化課長 町で提示した基本設計案提出要領に基づき、整備コンセプト・技術提案等が内容に添っているかなど総合的に判断し選定した。

結城議員 実施設計ができてから

の変更は困難と考えるが。
教育文化課長 現在、基本設計を進めている段階であり、今後、全員協議会等で設計の概要を示したい。

松田議員 町有林伐採等委託料について、伐採の目的と面積は。
総務課長 公共物の建築等で、主に新しい中央公民館の建設に使用するため伐採します。

また伐採する面積は町有林の全体14haのうち、3haを伐採します。



製材・乾燥された西山杉

松田議員 コミュニティ助成事業費補助金の内訳は。

入ってくるお金

○農業費補助金 30万円
（農地中間管理機構集積協力金交付事業費）

○繰越金 3千180万円

○雑入 1千930万円
（コミュニティ助成事業助成金）

支出するお金

総務費

○町有林伐採等委託料 570万円
（貫見吹越地区の町有林の伐採）

○コミュニティ助成事業費補助金 1千930万円

（蛭水区コミュニティセンター等

政策推進課長 蛭水区コミュニティセンター建設費に1千500万円、8区の防犯灯のLED化事業に230万円、9区の地域防災事業備品購入費200万円です。

松田議員 貫見地区でも防災組織を立ち上げた。

今後、補助等について検討をお願いしたい。

政策推進課長 補助申請が出た段階で考えていきたい。

布施議員 農地中間管理機構はどのようになっているのか。

また、現場での恩恵はどうなるのか。

農林課長 農地の貸し借りについては、これまで農業委員会や農地利用円滑化団体であるJAが実施してきた。

今年度から新たに、農地中間管理機構が県に1つ作られ、西村山ではJAにその業務が委託され、農地の利用集積を図っていく。

今回の農地中間管理機構集積協力金は、農地を機構に貸し付けた農家に対する補助金として支払われるものです。

宇津江議員 7・18災害復旧工事の町単独土地改良事業は今年度で終了の見込みか。

農林課長 畑、農業施設、農道等の工事で平成25年度から繰り越して対応するものと、本年度に予定したものを合わせて対処していきます。

事業は、今年度中に終了予定です。



災害復旧工事が終了した月布堰の土手

また、海外派遣の生徒人数は12名、13名でも良かったのでは。

教育文化課長 海外派遣する職員の賃金ではなく、海外派遣業務等が増えたことから、一般事務を補助するための賃金です。

教育長 より多くの生徒に海外派遣研修を通じて広い視野、異文化との交流を深めていただきたいが、10名、11名程度が、今回の計画で引率する適正人数と考えている。



中学生海外派遣事業の事前研修会（ヘルスケア）

等工事の完成時期は。
政策推進課長 工期は7月10日であり、全て完成します。

ただし、リニューアルオープンについてはイベント等を考慮し、7月20日としました。

宇津江議員 温泉の常連客からは、2箇所に創設する露天風呂の中、せめて1箇所でも岩風呂にして欲しいという意見があるが。

政策推進課長 経済的な面や、維持管理及び耐久性などを考慮して安全第一に設計しました。



完成した露天風呂の大型有機ELパネル壁画

菊地議員 臨時雇賃金11万円とは、中学生の海外派遣事務に対する賃金か。

土田議員 露天風呂浴槽の上屋工事、板塀の設置及び融雪栓の設置



士田 勵一 議員

少子化対策の提言

町長

具体的な施策の中で盛り込めないか
検討を加えていきたい。

質問 政府も自治体も、少子化

には困っており、過疎地域の地方自治体にとって、20年後には大変なことにもなりかねません。殆どの自治体は、住宅団地と雇用の確保や子育て環境の充実などに取り組んでおりますが、決め手となる対策がありません。しかし、子供は宝です。

そこで、提言を致します。

主に若い既婚者が対象になります。3人目の子供には、「にこにこ出生祝い金25万円（仮称）」、4人目からは、「やったね出生祝い金50万円（仮称）」を支給してはどうか。更に、夫婦の年間所得が600万円未満の場合、小学校入学時にランドセルを、中学校入学時にも学生カバンを支給してどうか。また、給食費は除きますが、保育園・幼稚園・小学校・中学校まで、全ての費用を大江町が負担することを提言します。

現実的に、少子化対策はこれし

か無いと思ひ、手遅れにならないうちに実行すべきです。

町長 出生祝い金については、大江町でも「すくすく出生祝い金」というものを、今年度から小額の1万円ではあるが支給する制度を設けました。

保育料の経済的支援として「いきいき子育て支援事業補助金」、「すこやか保育事業補助金」などがあり、幼稚園では、幼稚園就園奨励補助という、所得基準に基づく保育料補助があり、通園バス負担は、今年度から全額補助しております。

小中学生の保護者にも、一定条件の下で就学援助費を支給しています。

「中学校までの公費負担」という提言は、国で全体的に統一して行くべきで、教育の面で、アンバランスな状況が生まれるのではないかと思います。

「子ども・子育て支援新制度」が、平成27年4月からスタートし、



子供は大江町の宝もの

「市町村子ども・子育て支援計画」の指針に基づいて、今後の大江町のあり方を今年度中に策定していきます。少子化問題は、肉体的、精神的及び経済的な負担を軽減すれば子どもが増えるのか、かなり微妙な問題が含まれているものと思ひます。



新たな雇用の場の創出を!

質問 高校や大学を卒業すると、東京や関東方面に就職する方が多く、転出抑制策も考えなくてはならないが、転出抑制策次第では、Uターンする方が多くなると思ひ、町に若い人がいなくなれば、全てが終わりだと思ひうが。

町長 町外に転出が多いという話がありました。が、「雇用」という二文字で解決しなければ、どうにもならないと思ひう。

質問 自然を守り、水資源を守るには欠かせないのが里山作りだと思います。

松枯れから始まり枯れが進み、美しい里山が見られなくなつたような気がします。山に入つてみますと、50年以上経つている大木が多くあります。

それを切り出しても始末に困ります。倒した木材を資源として利用するには、やや大型の薪割り機が必要です。そこで薪割り機導入に補助金を出してはいいかがでしょうか。それが里山再生に結びつくのではないかと。

町長 本町の森林は民有林のうち天然林が4千425ha、人工林が3千437haです。ほとんど手つかずの状態で、ナラ枯れ等の森林被害が多く発生しております。このような中、町では平成21年に大江町美しい森林（もり）づくり協議会を立ち上げ、間伐材利用の促進や、木材の販売拡大などの検討を行い、町の施策

にも反映させてまいりました。今年度に入り、おおえ町型薪ストーブの開発を行いました。

更に、沢口地区に若者会が設立され、森林の有効活用を図るため、薪ストーブの開発や薪の製造、供給者育成、情報発信等について活動していくとのことでありました。

議員ご提案の薪割り機への補助につきましても、薪ストーブ設置の点からも有効と思われるので、沢口地区若者会の活動等も考慮し検討してまいります。



大木の雑木林

町内の動植物生態系の保護に対する考えは

町長 今年度から自然生態系の保護を進めるため調査を開始しております。

質問 我が町には、絶滅危惧種で日本一小さなハッチョウトンボが生息しております。

モウセンゴケ、サギソウなど、動植物の保護は美しい里山作りに欠かせないと思いますが、町長はどのような見解をお持ちですか。

町長 ハッチョウトンボは、町内の数カ所に生息しております。またモウセンゴケは、朝日連峰の鳥原山付近を中心に、里近くの山まで分布していると聞いております。

大江町内ではこれまでに、動植物の分布に関する調査はほとんど行われておりません。

環境基本条例と環境基本計画で目指している自然生態系の保護を進めるためには、町内にどのような動植物がどのくらい生息しているのか把握していく必要があります。

「めぐみ」を与えてくれる里山については保全と整備が必要であり、昨年、吉村知事の提唱により、

確認後に本年度から事業化した山森林資源活用事業や森林総合整備事業等も含め、美しい里山作りを目指していきたいと考えております。



絶滅危惧種のハッチョウトンボ

質問 学校教育で野山の大切さ、素晴らしさ、地域の生物等の指導も、これから生きていく上でプラスになると思っています。

教育長 町内に生息する動植物についての提言だと理解します。地域ならではの学習材料があり、教材を発掘し、研究開発には先生方も一生懸命に取り組んでいる。これからも町内の材料で教育をしていくという観点では大いに充実させていきたい。

美しい里山作りをめざして
町長
薪割り機は高馬力のものが必要で、補助の対象になるか検討していく。



伊藤 慎一郎 議員

産業厚生常任委員会 災害現地視察報告

貫見字迎田地区内 地すべり状況



幅約100m長さ約250m、面積約3haの規模で山腹地すべりが発生、推定土量は約10万³m³が崩落し、沢が埋塞^{そく}している。

国の事業採択に向け、県の森林整備課で調査測量を発注し、今後の計画を行っている。

埋設土砂の流出等、異状があった場合の緊急連絡網を貫見区及び役場内で共有し、迅速な対応がとれるように体制を整えている。



長畑線「柳川地内」道路崩落状況



平成25年度繰越明許により、9月30日までの工期で発注している。延長76mにわたり道路が崩壊、融雪後に現場を確認したところ終点側の延長20mが増破し路肩が崩落したため、工事を一時中止し計画の変更手続きを行っている。

中の畑地内土砂崩れ状況

平成25年7月の豪雨により地すべりが発生した。規模は幅約30m長さ40mにわたり山腹が崩落し、下流の沢が300mほど埋塞^{そく}し、崩落土砂は約4万³m³である。



国の補助事業「復旧治山事業」により、えん堤工の設置や山腹を安定させる工事が県の森林整備課により計画されており、完成までに概ね5年間で予定している。

第39回全国町村議会議長・副議長研修会

平成26年5月27日～28日にかけて、東京メルパルクホールで開催されました。

第1日目

全国町村議会議長会会長 蓬清よしみず
二氏の開講挨拶に始まり、基調講演等が行われました。

○基調講演

「住民と歩む地方議会」

江藤 俊昭氏
(山梨学院大学法学部教授)

○シンポジウム

「これからの町村議会のあり方」

△コーディネーター▽

江藤 俊昭氏

△パネリスト▽

近藤 哲雄氏

(北海道大空町議会議長)

奥津 勝子氏

(神奈川県大磯町議会議長)

原 悟郎氏

(長野県南養輪村議会議長)

岩田 重成氏

(熊本県御船町議会議長)

第2日目

講演

「地域づくりを考える」

結城 登美雄氏

(民俗研究家・大江町小斬出身)

「日本政治経済の現状と今後の行方」

後藤 謙次氏

(ジャーナリスト)



東京メルパルクホールでの研修

議長による諸般の報告

1 「国道287号白鷹大瀬地内地震災害の早期復旧」について5月7日、遠藤白鷹町議会議長、長岡朝日町議会議長とともに、吉村県知事に災害の早期復旧の要望を行ってきました。吉村県知事からは、「冬期間のことなど心配であるが、専門家の意見を聞きながらしっかりと対応して、う回路を利用してもらうなど、情報発信を行いながら関係市町一緒にやっていきたい」との話がありました。



吉村知事へ災害の早期復旧を要望する

2 平成26年度村山地方町村議会議長会総会が、5月15日に河北町「ひなの湯」で開催されました。

村山地方町村議会議長会として、地方分権・地方行政の確立など国・県への積極的な働きかけを行うとともに、村山地方7町の緊密なる相互連携のもと、研修の充実や政務活動の積極的な推進を行い、村山地方及び各町の振興発展に寄与する事業計画を決定しました。

併せて、歳入歳出それぞれ、総額106万円とする予算を決定しました。

3 「平成26年度知事を囲む市町村自治振興懇談会」が5月19日、山形市のグランドホテルにて、県内各市町村議長が一堂に会し開催されました。

吉村知事より「平成26年度県政運営」と題しての講話を聞いた後、県内各市町村議会議長会から、「県立河北病院の医療機能の充実」等の要望が出されました。

4 「平成26年度西村山地方議長協議会総会」が5月22日、西村山各市町正副議長参加のもと、大江町役場大会議室にて開催されました。

総会では、地方自治の振興発展を図ることを目的として、広域行政の推進策や市町行政に関する調査研究と提言などを行うとした事業計画を決定しました。

私もひまわり



橋本 光弘
(伏熊区)

でも他者への依存度を減らしたいと思っただけです。先の原発事故は、過剰なまでに電力のエネルギーに依存しすぎた現代社会の抱える問題が表面化した結果だと思います。

そんな時代だからこそ、少しでも自給できる知識と技術を身につけ、生活の幅を広げることが大切だと思いました。震災がもたらした非現実的な感覚は私の価値観を変え、情報の着眼点を変え、生き方を変えました。

今を生きる我々大人が判断し、行動した結果が子供や孫の世代が生きる未来の姿となると思えば、我々一人ひとりが足り

るの豊かさを伝えていく社会づくりが必要なのではないでしょうか。

例えばサラリーマンをやめ農業を生業にと志してから、6年の歳月がかかりました。その間、震災、原発事故、自主避難、いろいろな経験しましたが、今こうして大江町という根を下ろす場所が見つかり、多くの方々に支えられて念願の農家となれたことに心から感謝しております。

私が農業を仕事として選択した理由は、自らの生活において少し



議会の動き (平成26年4月～6月)

4月	4日 議会広報常任委員会
11日	総務文教常任委員会協議会
18日	産業厚生常任委員会協議会 議会活性化検討特別委員会 第1小委員会、第2小委員会 議会広報常任委員会
5月	7日 県知事緊急要望会 (白鷹町・朝日町・大江町合同)
8日	全員協議会懇談会
14日	議会活性化検討特別委員会 第1小委員会、第2小委員会
15日	産業厚生常任委員会現地調査 村山地方町村協議会定期総会 (河北町へに花温泉ひなの湯)
19日	知事を囲む市町村自治振興懇談会 (山形グランドホテル)
22日	西村山地方議長協議会定期総会
23日	議会運営委員会
30日	議会活性化検討特別委員会 第2小委員会
6月	4日 第2回定例会(6日まで)
4日	議会広報常任委員会
11日	議会広報常任委員会
18日	議会広報常任委員会
23日	全員協議会
23日	議会活性化検討特別委員会 第1小委員会
26日	議会広報常任委員会

次回定例会は、9月開催予定です。ぜひ傍聴においでください。
また、大江町のホームページで、議会の様子をライブや録画で見ることができます。

編集後記

暑さ厳しい今日この頃ですが、咲き誇る花は可憐さをのぞかせてくれます。

町民の皆様には、健康が第一でありますので体調管理を願うところです。

「議会だよりおえ」も発刊から、今回で132号となりました。

町民の皆様には毎号ご愛読いただき、励ましやご批判を頂戴しましてありがとうございます。

今後の編集に当たりましては、先進地へ出向き研鑽を重ね、また、広報研修会等で学んだことを活かし、内容の充実を図りながら紙面づくりに取り組んでいきます。

なお一層ご愛読いただけるよう邁進してまいります。

(記・古城 紀夫)

発行責任者

◆議長 小野 祐一

【大江町議会広報常任委員会】

◆委員長 安食 幸治

◆副委員長 宇津江雅人

◆委員 菊地 勝秀

◆委員 古城 紀夫